

市民からの意見や要望、陳情を市はどのように取り組んでいるのか

阿南 誠 蔵



阿南 市には、総務・市民・教育・経済・土木部と五つの部がある。本庁や支所等に『ハイ、市長です』という意見箱が設置されているが、どのような意見や要望があるか市長に尋ねる。

市長 就任当初は、職員の接遇が悪い、観光面では看板の統一性がない、山上の廃屋やスキー場のリフト、JRのトイレの件などいろいろありましたが、職員一丸となって懇切丁寧に取り組んでいます。

阿南 今後、市民の安心・安全の為に、緊急性や公共性などを考慮し、更にインフラ整備に努めてほしい。区長要望等に関する各部の対応状況は。

渡辺総務部長 区長の要望書については、最終的に総務課で取りまとめています。平成22年度で215件ありました。総務部関係は交通安全施設、消防関係が主なものです。

区長要望等申請・対応状況

○「申請先状況」

総務課	財政課	企画振興課	農政課	商工観光課	建設課
38件	1件	2件	12件	1件	161件
17.67%	0.47%	0.93%	5.58%	0.47%	74.88%

○「対応状況」

即時対応	対応予定	検討中	要協議	不可	その他
7件	83件	36件	9件	16件	64件
3.26%	38.60%	16.74%	4.19%	7.44%	29.77%

江藤市民部長 個人の意見や要望は多いですが、区からは上がっておりません。

岩下教育部長 地区公民館・集会場の改修助成やグラウンド・スクールバス関係が多く、文書で回答しております。

渡邊経済部長 農道、治山関係が多く、平成19年から農地水環境保全対策事業で対応しています。

伊藤建設課長 161件で他の部署より多く、現地をまず見て、1ヶ月程度で区長に回答を差し上げています。完了しているのが64件で約40%、概算で3300万円程度を支出しております。

波野総合グラウンド管理棟改修計画について

市原 新



市原 平成21年3月の定例会で管理棟のトイレ改修計画についてお尋ねしている。その時の教育部長の答弁は、「不快を感じられる部分もありますが、現状を見ながら対応したい」との事であったが、どう対応されたのか。

岩下教育部長 現場に行き、状況を見ました。汲み取り式で老朽化していますが、清掃等を行っています。**市原** トイレについては、旧態依然として汲み取り式のものである。人が集まる公共施設の中で汲み取り式のトイレが使用されている施設がどのくらいあるのか。

日田教育課長 汲み取り式は、一の宮のグラウンドにもあります。

市原 管理棟も30年以上経過して老朽化している。この際、管理棟の改修計画があるか。

教育課長 阿蘇市管内の社会体育施設は老朽化しており、修繕等を含めて、今後、緊急性、費用対効果、優先順位を決めながら必要な整備を検討して行きたいと思っております。

特に社会体育施設の修繕・改修には補助金がなく、一般財源で対応することになります。

市原 波野地区には過疎債も適用される。過疎債の元利償還金の70%は交付税に算入される。総合グラウンドは、阿蘇市民だけの利用でなく、市外からの利用者も多く、公の施設として利用される方々に不快な思いをさせない様な施設に早く改修していただきたい。市長のお考えは。

市長 教育課長が言ったとおりであります。

他に「仁田水地区の農業用水」についての質問がありました。



波野総合グラウンド管理棟

保育園の民営化後、保育の継承と充実をどう図るのか

川端 忠 義



川端 宮地、内牧、黒川の三つの保育園の民営化が進められているが、民営化後の保育園においては、今の保育園の経験豊かな嘱託保育士を正規雇用で採用を考えているのか。

城健康福祉課長 移管先の法人では、保育士の約四割を正規職員として配置する内容になっています。

川端 私立保育園は、若くて雇用期間が短い保育士が多いと言われている。経験豊かな保育士を半分以上正規雇用することが保育の充実につながる。現在の嘱託保育士で希望される方は、正規の職員として採用されないのか。

健康福祉課長 今の嘱託保育士の34名が民営化後の宮地、内牧、黒川保育園を希望しており、全て採用して頂くようにお願いしています。正規雇用を四割は確保したいと思っています。

川端 民営化後の行き届いた保育の充実のために、保護者と保育園の連携をどう図るのか。

健康福祉課長 移管先の法人には、保護者の意見を尊重することを第一に求めています。基本的に今の行事や保育内容を継承し、新たな法人と保護者の連携を密にしていきたいと思っています。

川端 いよいよ半年後に、市内の大きな三つの保育園が民営化される。保育の内容の充実が重要だと思うが、市長の見解はどうか。

佐藤市長 私立の保育園に移っても、公立保育園と遜色のない保育が受けられるように、行政からもしっかりサポートしていきたいと思っています。



保育園の元気な子ども達

医療費抑制に向けた市の取り組みについて

園田 浩 文



園田 特定健診の対象者と、年齢別の受診率、保健指導等について。

城健康福祉課長 受診対象者は40歳から49歳まで、受診率は44.3%、45歳から49歳までは47.1%、50歳から54歳までは49.1%、55歳から59歳までは50.2%、60歳から64歳までは51.1%、65歳から69歳までは52.1%、70歳以上では53.1%です。22年度の実績は36.5%です。県内の市では受診率は一番です。また、保健指導においては、22年度目標値45%に対して56.8%で大きく上回っています。

園田 今後、特定健診率65%を達成できない場合、国庫支出金等が減算される可能性はないのか。

健康福祉課長 達成できない場合は、いろいろパネルティーがありますが、今の段階では、後期高齢者医療の見直しが行われておりますので、どうなるか、はつきりしておりません。

園田 健康づくり推進委員、食生活

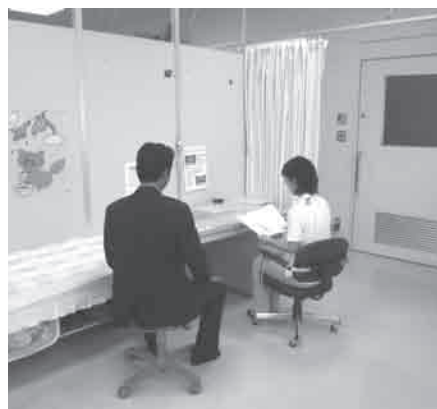
改善推進委員さん方の事業内容と人員は。

健康福祉課長 健康づくり推進委員は103名で、毎年テーマを決め地区独自の健康教室や、健康調査票の配布・回収、健康セツト等の配布を行っています。食生活改善推進委員は現在670名で、県下でも一番の人員です。いきいき教室や、親子料理教室等を開催し、食生活改善の普及・啓発に努めて頂いております。

園田 今後の国保事業の見通しは。

健康福祉課長 保健基盤安定制度、財政安定化支援事業について、一般財源より繰入、軽減を図ります。

他に、「新中央病院建設計画の現状について」の質問がありました。



検診風景（保健指導）